

【機械・一般事業】ものづくり支援

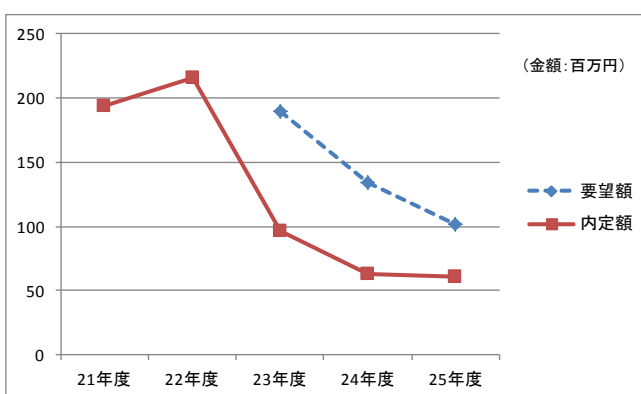
1. 補助の目的・概要

ものづくりは日本の機械工業を支える基盤であり、国内産業の空洞化を避ける意味でも支援が求められる分野である。

平成 23 年度の機械工業振興補助においては、先端技術の開発、知的財産の創出、付加価値の向上等の切り口から、機械工業におけるものづくり支援を一般事業として支援した。

2. 補助実績（内定件数・金額）

ものづくり支援



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数* (件)	内定額* (百万円)
21年度			8	194
22年度			10	216
23年度	18	190	14	96
24年度	18	134	12	63
25年度	18	102	14	61

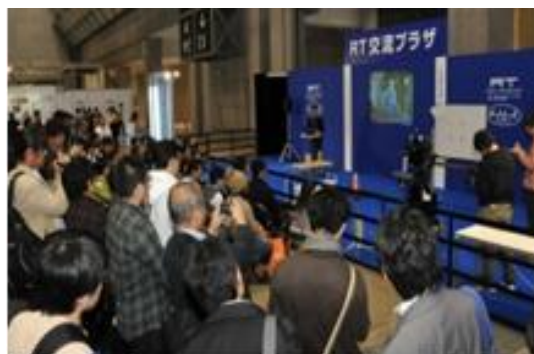
※辞退となった事業を除く


平成 23 年度においては、18 件 1 億 9,000 万円の補助要望があり、そのうち機械工業分野に関する調査研究事業を中心に 14 件 9,600 万円の支援を行った。

3. 補助事業の事例

一般社団法人日本ロボット工業会

東京ビッグサイトにおいて開催された「2011 国際ロボット展」において、大学、公設研究機関等を対象とした「RT (ロボットテクノロジー) マatchingプラザ支援事業」を開催し、大学や公設研究機関等の研究成果を広く公開 (展示・実演) する機会を設け、技術移転や共同開発を促進するためのマatching支援を行い、ベンチャー創業、新規事業の創出を企図した。



<p style="text-align: center;">公益財団法人国際超電導産業技術 センター</p> <p>国内外の超電導に関する研究開発状況、実用化動向、特許・標準化等の最新情報や海外における超電導に関連のある企業の活動、国家プロジェクト動向など時事性のある情報を調査、収集し、電子情報誌「超電導 Web21」に毎月掲載することでタイムリーな情報提供を行った。</p>	
--	--

4. 補助事業の成果

(一社) 日本ロボット工業会のマッチングプラザ支援事業について支援を行った。

この事業は、ベンチャー創業や新事業創出の観点から、昨今注目されているロボット分野について技術移転や共同開発を促進するための取組みとして、大学や研究機関が企業に対して広く研究成果を公表する「ロボットテクノロジー・マッチングプラザ事業」を行うものである。産学連携によって、学術的研究にとどまらず、実用化へ促進させることができる。

また、(公財) 国際超電導産業技術研究センターの超電導技術振興のための普及啓発事業についても支援を行った。

この事業は、超電導電磁石の利用による測定機器などエレクトロニクス分野で実用化され、さらに適用範囲が広がることが期待されるとともに、電力、エネルギー等の部門にも応用が見込まれている国内外の超電導技術について、調査研究及び普及啓発活動を行うものである。昨今の再エネ導入・低炭素社会の実現に寄与する技術として注目され、産業化の緒についたところであり、国際シンポジウムから動向調査の web 公開まで正確で早い情報を多様に提供したことは、今後の学术界・産業界における国際競争力強化のための一助となる。

他にも、(一財) 日本航空宇宙工業会が行う宇宙先端技術を用いた新規事業創出のための調査研究や (一社) 研究産業・産業技術振興協会が行う研究開発機能の海外振興経済国移転メガトレンド調査等を行うことにより、日本国内におけるものづくり基盤の強化、国際競争力の向上を図ることができた。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 37 件 (1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる) のうち、5 段階評価で、評価 5 [極めて高い] が 4 件、評価 4 [比較的高い] が 27 件、評価 3 [ほぼ問題ない] が 6 件であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A++ [極めて高い] が 8 件、A+ [比較的高い] が 21 件、A [概ね十分] が 8 件と、すべての事業で補助事業とし

て概ね十分と評価されるA以上の評価となっており、補助の目的である、日本のものづくり基盤の向上に資することができたと思われる。

6. 今後の検討課題

産業空洞化を防ぐ意味でも、日本国内におけるものづくり基盤の確立、新技術・新事業の支援は不可欠の要素であると考えられる。機械工業の振興を目的とするJKAの補助事業においては、引続き支援しなければならない分野である。

一方で、個別の事業内容をみると調査研究、普及啓発にとどまるものがみられる。具体的な成果につながるような事業を求めていくことも必要である。